

豊橋市民病院だより

青竹

NO.

42

2009.9.30

編集：病院広報紙編集委員会

委員長 鈴木 伸行

- 2 新型インフルエンザのQ & A
- 5 新任医師の紹介
- 6 看護局から
- 8 診療技術局から
- 9 くすり箱
- 10 委託業務スタッフからのメッセージ
- 11 ご意見箱～院長からご返事します
- 15 あとがき
- 16 お知らせ



病棟屋上より

豊橋市民病院

新型インフルエンザのQ&A

豊橋市民病院 感染症管理センター 副部長 山本 景三

全国で流行の兆しをみせている新型インフルエンザについて、Q & A形式でまとめてみました。

Q1 秋から冬にかけての新型インフルエンザの流行はどうなりますか？

A1 国立感染症研究所感染症情報センターによれば、現在インフルエンザの流行は拡大傾向にあり、そのほとんどが新型インフルエンザと推定されています。沖縄県では発生数が突出して多く大きな流行となっていますが、その他の地域ではまだ少数にとどまっています。しかし通常の季節性インフルエンザが流行する秋から冬にかけて全国的に大きな流行となる可能性があります。新型インフルエンザは数年かけて全ての人がかかり、季節性インフルエンザとして定着して毎年流行するようになると考えられています。

Q2 感染予防について

A2 個人でできる感染予防策に努めてください。手指衛生、呼吸器衛生・咳エチケット、ワクチン接種が大切です。手指衛生は、普通の石鹸と流水で手を洗うか、アルコール性手指消毒薬を使います。いずれの場合も20秒以上かけましょう。咳などの症状があるときはマスクを着用し、マスクがなければティッシュペーパーなどで鼻と口を覆います。ティッシュペーパーは放置せずゴミ箱に捨て、最後に手を洗いましょう。ワクチンの供給についてはまだ詳細がわかりませんが、優先順位に従って順次接種ということになりそうです。

Q3 もし体調が悪くなったらどこにかかればよいですか？

A3 インフルエンザの流行が広がると少数の医療機関だけで診療するのではパンクする可能性があります。このため厚生労働省は専門病院以外でも診療を行うように方針を変更しました。体調が悪くなったらまずかかりつけ医か保健所の相談窓口で電話で相談してください。インフルエンザは発病の前日から発病後7日目まで感染性があります。もし発症したときは7日間は外出をしないようにしましょう。学校などで児童・生徒に感染者が出て学級閉鎖や休校になったときは、休みになったからといって遊びに出かけるのはやめましょう。症状が出ていなくても感染している可能性はあり、出かけた先で人にうつしてまわることになりかねません。

Q4 市民の皆さんにお伝えしたいことは？

A4 今のところ新型インフルエンザは通常の季節性インフルエンザと同様の症状ですが、妊婦や基礎疾患のある人がかかると重症化する可能性があります。また今後ウイルスの変異などで感染性や重症度が変化するかもしれません。厚生労働省や保健所から出される正確な情報をもとに、パニックにならずに冷静に行動してください。

図1 石鹸と流水による手洗い



図2 アルコール性手指消毒薬



図3 厚生労働省：咳エチケットポスター

あ、その咳、そのくしゃみ

咳エチケット

咳エチケットしてありますか？

「咳エチケット」とは？

- 咳・くしゃみがでたら、他の人にうつさないためにマスクを着用しましょう。マスクを持っていない場合は、ティッシュなどで口と鼻を覆い、他の人から顔をそむけて1m以上離れましょう。
- 鼻汁・痰などを含んだティッシュはすぐにゴミ箱に捨てましょう。
- 咳をしている人にマスクの着用をお願いします。

インフルエンザ予防のためにできること

- 外出後のうがいや手洗いを日常的に行いましょう。
- 十分に栄養や睡眠をとり、体力や抵抗力を高め、体調管理をしましょう。
- ワクチン接種を希望される方は、お近くの医療機関にご相談下さい。

※なお、高齢者の方（原則65歳以上）がインフルエンザ予防接種を希望する場合は、予防接種法（定期の予防接種）の対象者として接種を受けることができます。

インフルエンザに関する情報

厚生労働省ホームページ
▶ <http://www.mhlw.go.jp/index.html>

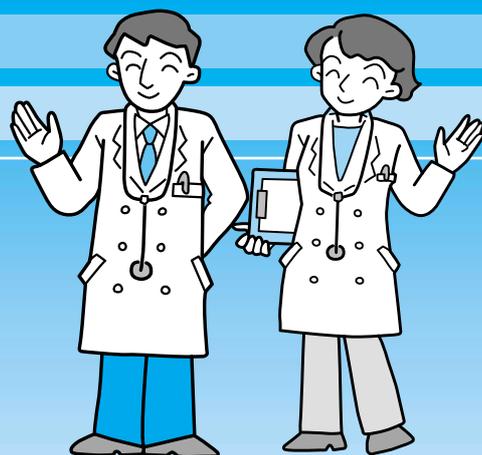
国立感染症研究所感染症情報センターホームページ
▶ <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

新型インフルエンザとは？

世界的流行が心配されている新型インフルエンザに対し、政府は行動計画を定めて、発生に備えた対応を行っています。詳しくは、厚生労働省HP「新型インフルエンザ対策関連情報」まで。
▶ <http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou04/>

New Doctor

新任医師の 紹介



New Doctor

- ① 所属
- ② 赴任日
- ③ 前任地
- ④ 趣味
- ⑤ その他 自由（抱負、自己PR、家族のこと、最近思うことほか）

小林 一彦

- ① 麻酔科
- ② 平成21年7月1日
- ③ 安城更生病院
- ④ 楽器演奏
- ⑤ 初めての東三河ということで、新たな人々との出会いに期待しています。至らぬ点も多く、皆様にご迷惑をおかけすると思いますが、少しでも力となれるように精進していきます。どうぞよろしくお願いいたします。



西原 裕晶

- ① 眼科
- ② 平成21年9月1日
- ③ 名古屋大学医学部
附属病院
- ④ 筋力トレーニング
- ⑤ 名古屋大学医学部附属病院では加齢黄斑変性を中心に黄斑疾患を専門外来として担当していました。今後も豊橋市民病院で専門性を生かしつつ、多くの患者さんのお役に立てるように頑張りますのでよろしくお願いいたします。



「外来待合室における新型インフルエンザ対策のご紹介」

看護局 感染管理認定看護師 高橋一嘉

新型インフルエンザは今秋にも大流行すると言われ、既にその傾向を示しています。慢性的な基礎疾患（糖尿病、心臓病、腎臓病など）を持つ患者さんや新生児、高齢者の方々を守る対策を考えなければなりません。当院が外来で行っている感染防止対策の一部をご紹介します。

正面玄関

正面玄関の二重扉内には手指消毒薬を設置しています。“エンベロープ”という蛋白質の膜を持つインフルエンザウイルスには、エタノールを含有した手指消毒薬が大変有効です。来院時や帰宅前に手指を消毒すると良いでしょう。



内科外来用の待合スペース（1階アトリウム）



38 以上の発熱や呼吸器症状（咳・咽頭痛・鼻水など）を訴え病院を訪れる際は事前に電話連絡して頂くか、総合案内所に申し出てもらっています。マスク着用を促したうえ、慢性疾患のある患者さんと内科待合室を共有しないように配慮したものです。青いパーテーションでプライバシーも確保しています。

小児科外来の待合スペース（2階小児科外来受付前）



午前中は初診の患児を診療し、午後は慢性疾患への診療に切り替えます。発熱している患児は午前午後を問わず来院するため対策が必要です。職員の誘導により背向かいの椅子で対面をパーティションで区切った待合スペースで待っていただきます。採光に配慮した半透明のものを採用することで患児に不安を与えないようにしています。

救急外来の待合スペース（救急外来受付前）

救急外来は新型を含むインフルエンザ患者が一番多く訪れる場所で、待合室の共有は感染拡大の原因になりかねません。待合室を二分化し椅子の向きを反対側にむけるなど工夫しています。通路に接しているためパーティションや観葉植物でプライバシーにも配慮しています。



待合対策として重要視していることは「エリアを分ける」「非対面式とする」「広い空間の活用」です。さらにマスク着用による咳エチケットを行えば感染対策効果はさらに上がると思われます。マスク自動販売機も設置していますのでご利用ください。



診療技術局から

リハビリテーション技術室

息切れでお悩みのみなさまに

慢性呼吸不全に効果を示す呼吸リハビリテーション

「リハビリテーション」というと、手足のケガや脳梗塞の後遺症に対する機能回復をイメージされる方が多いと思いますが、息切れを主症状とする慢性呼吸不全にもリハビリテーションの効果があることがわかってきました。

1. 呼吸リハビリテーションで生活の質を高めよう

当センターでは、肺の機能を生かす呼吸法指導や、気道にたまった痰を出しやすくする訓練、弱った呼吸筋や手足の筋肉を鍛えるような運動療法を行っています。これらを行うことで、日常生活における息切れが減り、日々の活動がふえることが期待されます。

2. あせらず、むりをしないで、ゆっくりと

呼吸リハビリテーションは強すぎず、弱すぎない運動を約30分間、週3回以上続けることが推奨されています。運動手順としては口すぼめ呼吸、腹式呼吸などの運動を行ったのち、手足の筋力訓練やエルゴメータなどの有酸素運動を行うと良いでしょう。



呼吸訓練



エルゴメーター



一般用医薬品の販売が変わりました！

平成21年6月1日から改正薬事法が施行されました。これにより、町の薬局やドラッグストアなどで処方せんなしで購入できる「一般用医薬品」が、リスク・成分などによって3つに分類され販売方法なども変更されました。



| 分類 | | 情報提供 | 店頭での陳列 | 対応者 | |
|--------|-----|--|-----------------------|-----------------------------------|--------------------|
| 一般用医薬品 | 第1類 | 特にリスクが高いもの ・H2ブロッカー含有薬 (胃酸分泌抑制薬) 等 | 文書での情報提供を義務づけ | 患者さんが直接手に取れない場所 | 薬剤師のみ |
| | 第2類 | リスクが比較的高いもの ・かぜ薬 ・解熱鎮痛薬 ・漢方薬 等 | 努力義務 (必要な情報提供に努める) | 患者さんが直接手に取ることができる陳列でよいが、他の薬と区別する。 | 薬剤師 又は 登録販売者 |
| | 第3類 | リスクが比較的低いもの ・ビタミンC含有保健薬 ・整腸剤 等 | 適切な対応 | | |



登録販売者：今回より導入された薬剤師以外の専門家（都道府県の試験合格が必要）

委託業務スタッフからのメッセージ

株式会社 日本医療事務センター

市民病院の電話交換室においては、外線（患者さんなど外部からの受信）と内線（院内から外部への発信）合わせて、1日700本から1,000本の取り次ぎ業務を行っております。皆様とお顔を合わせる事のない職場ですが、病院の声の窓口であることを常に忘れることなく“正確・迅速・丁寧”な対応を心掛け日々努力しております。お待たせすることのないように順次取次ぎをしておりますが、混雑時にはどうかご了承いただければと思っております。病気の方にも忙しい院内の方にも声を聞いただけで“ほっ”として頂けるような、見えない癒しの存在になれたらと願っています。



電話交換室スタッフ





ご意見箱

～ 院長からご返事します～



1. 施設関係

デールームが暑くていられないのでエアコンを入れてください。とても暑くて我慢できません。サウナのように。

ご返事

ご意見ありがとうございました。季節の変わり目で暑い日、寒い日がありご迷惑をおかけしております。暑い時には、遠慮なく病棟看護師にお申しつけください。設備の切り替えの時は別として、エアコンを入れるなどの対応をいたします。今後とも貴重なご意見お待ちしております。

2. 診療関係

本日、月に一度薬の処方箋をもらいに来院しました。薬診療で1時間30分待ちました。薬だけでも普通の診療と同じなのでしょうか。もう少し早くできませんか。

ご返事

ご意見ありがとうございました。医師法上、診察せずに処方箋を発行することはできませんので、投薬のみを希望する患者さんは、当日の予約患者さんの間の時間に医師が患者さんの病状を確認した上で処方をオーダーします。そのため、時間がかかってしまうことがあることをご了解ください。今後とも貴重なご意見お待ちしております。

3. 職員対応関係

ある夜のことで、便が出たので取替えを頼んだところ「はい」との返事。しかし待っても待っても来る気配はなく、待ちくたびれて結局自分が交換しましたがうまくいかず下着を濡らしてしまい大変なことになってしまいました。ナースステーションを覗いてみると2人で椅子に座って何か書いている様子。忙しく動き回っているならともかく、座っているのならたったの2、3分のことなのでさっと来て取り替えてもらうことはできないのか。挙句の果てにおしりは赤くなっていた。夜の対応はいつもあんなものなのかと一人置いて帰るのは不安になった。もっと身内の身になって考えてもらいたい。すみませんの一言もなく次の日父は亡くなりました。本当に悲しい気持ちでいっぱいになりました。長い入院生活の中でよくしていただいた看護師さんももちろんおり、本人が名前を覚えて私達家族に話していました。患者は看護師さん達のことをよく見えています。

ご返事

ご意見ありがとうございました。看護師は患者さんやご家族のご依頼にはすぐに対応するように全員で心がけていますが、今は亡き患者さんやご家族の方に対し、大変不愉快な思いをさせてしまい深くお詫び申しあげます。ご意見を真摯に受け止め、今後このようなことがないよう努めてまいります。今後とも貴重なご意見お待ちしております。

4. お礼

三度目の入院になります。今回も先生、看護師さん皆さんのおかげで安心して手術を終えることができありがとうございました。四度目に入院する時はお産でお世話になりたいと思っています。

ご返事

ご意見ありがとうございました。このような丁寧なお言葉を頂きスタッフ一同感激しております。今後もこのようなご意見をいただけるよう頑張っていきたいと思います。本当にありがとうございました。今後とも貴重なご意見お待ちしております。

5. その他

流動食を食べています。毎回メニューを変えるのは大変だと思いますが、重湯、とうふ、カルピス、野菜ジュースのメニューでは栄養的にどうでしょう。水気のあるものを並べただけです。重湯にも工夫がなく毎回同じで、食べるのが嫌になるみたいです。食事治療の一環と考えたらもう少し工夫が欲しいと思います。また、以前副菜が硬いため、きざみをお願いしたらフルーツは丸のままできました。もう少し愛情と仕事に誇りをもってください。

ご返事

ご意見ありがとうございました。本院では患者さんの容態により硬いものを噛み砕くことができない場合や消化吸収能力が低下している場合に流動食をお出ししています。そのため重湯や、やわらかい豆腐・ゼリー・茶碗蒸し・野菜スープなどの呑み込みやすいもの、消化しやすいものにどうしてもなってしまいます。

流動食は、常食が食べられるようになるまでの練習用の食事で、その性格上、1日あたりの栄養価が650キロカロリーから700キロカロリーになります。患者さんの病状に応じて、食材を制限せざるをえない場合もあることをご理解いただきたいと思います。

また、キザミ食の場合でも、フルーツは変色や断面の乾燥防止のためにそのままの状態でお出ししておりますが、どうしても食べにくい場合は、お申し出いただければ対応いたします。

今回いただきましたご意見を参考にして患者さんにより満足していただけるよう努めてまいりたいと考えております。今後とも貴重なご意見お待ちしております。

6. その他

検査、治療と何日かぶりに食事と想えば、同じメニューが3日間、朝、昼、夕と・・・！ 一般家庭でもありえますか？患者は無理してでも口から物を入れて頑張っていこうと想っているのに・・・。食事治療の一環なのではありませんか？もう少し、患者の身になって食事を出して下さい。

ご返事

ご意見ありがとうございました。当院では常食の方はメニューの選択ができ、朝食と夕食はそれぞれ2週間は異なるメニューの食事をお選びいただけます。ただ、検査前や手術後にお出しする検査食、術後食は、その性格上、短期間は同じ内容になってしまいます。

また、腎臓や心臓の疾患の方には病状に応じて栄養価や塩分量を細かく設定する必要があるため、野菜類の調理方法が一様になり、一見同じメニューと思われる場合もあります。今後はさらに、工夫を加えることにより、もう少し変化をつけられないか検討してみますのでご理解ください。今回お寄せいただきましたご意見を参考にして、患者さんにより満足していただけるお食事をご提供できるように努力してまいりたいと考えております。今後とも貴重なご意見お待ちしております。

7. 療養環境関係

看護師さんの対応について無駄な行動が多いと感じました。ナースコール押釦のあと患者のもとへ一度出向き、要求内容を確認してから対応しているので氷枕1つで2往復もしてしまう。軽微な用件はオートフォンの前で声に出して要求するにすれば看護師の行動はもう少し減らせるはずである。2人同時にコールされた時、優先順位を看護師が判断できる等、緊急を要する患者への対応も早くなるような気がします。

ご返事

ご意見ありがとうございました。当院でも以前は、ナースコールが鳴ると同時にご用件を確認させていただいておりました。しかし、ナースコールは本来、患者さんが緊急時に押すものという考えのもと、患者さんのプライバシーに関することも多く含まれていることから、ナースコールが鳴ったらすみやかに病室に伺うよう職員に指導しておりますので、ご理解・ご協力をお願いいたします。今後とも貴重なご意見をお待ちしております。

8. 施設関係

病室の網戸が汚くて風通しが悪いので掃除をお願いします。クーラーをなるべく使いたくなく、自然の風のほうが体によいので、急いでお願いします。

ご返事

ご意見ありがとうございました。網戸の清掃については、清掃委託業者が年2回実施しており、本来なら5月に実施する予定でしたが、事務手続上、網戸清掃が6月中旬になってしまい、現在は完了しております。ご迷惑をおかけして大変申し訳ございません。これからも、より快適な療養環境を提供できる病院を目指し、努力してまいります。今後とも貴重なご意見お待ちしております。

9. 窓口関係

書類の受け渡しに時間がかかりすぎ。予定日に来ているのに前もって準備しておくべき。

ご返事

ご意見ありがとうございました。書類の受渡しに時間がかかるのは、患者さんが来院されてから該当するカルテ・書類を取り出し確認する作業や会計書を作成し事務処理を行なう作業を一人ずつ対応するため、どうしても多少の時間がかかります。なお、書類作成に時間を要する原因としては、書類の数と種類がきわめて多く、主治医の空いた時間で作成するため、原則として診断書等の作成には通常2週間の期間をいただいております。今後とも貴重なご意見お待ちしております。

10. お礼

東7階に入院していた者の家族です。入院中は先生はじめ看護師の皆様には大変お世話になり感謝いたします。先生は休日もいとわず何度も治療をしてくださり、看護師の皆様は交代のたび毎に挨拶にみえ名前を言っていられました。引継ぎがきちんとされていると安心感を覚えました。家族が入院してみて医療現場の大変さがよくわかり、大変な仕事だと大変感謝しておりました。また、配膳の方々、掃除の方々もプロの仕事をされていて気持ちよく過ごすことができました。ありがとうございました。

ご返事

ご意見ありがとうございました。このような言葉を頂き、病院に働く者として大変励みとなります。これからも患者さんの信頼にお応えできる医療を行えるようスタッフ一同頑張っております。今後とも貴重なご意見お待ちしております。

11. 窓口関係

内科は30分おきの予約時間帯に何人入れているのか。10時予約の人は11時過ぎに名前を呼ばれる。拘束される時間が長い。仮に7~8人を予定しているのなら4~5人に減らしてはどうか。

ご返事

ご意見ありがとうございました。内科外来では、30分間に5人ほどの予約を入れています。しかし、他病院から紹介された重い症状の患者さんや救急外来からの受け入れなどにより、予定時間に大幅な遅れが生じ、患者さんにご迷惑を掛けてしまうことがあります。従いまして、待ち時間を解消するためには、市民の皆さんに医療の機能分担について理解をしていただき、症状の安定した患者さんにつきましては「かかりつけ医」への紹介を推進することにより、外来診療の待ち時間の改善を図りたいと考えています。今後とも貴重なご意見お待ちしております。

12. 診療関係

胃カメラを鼻から入れるタイプに変えてください。胃の検査を受けたいけれど、検査の苦痛は耐えがたいものがあります。民間の病院ではあたりまえようになっており、導入をお願いします。

ご返事

ご意見ありがとうございました。鼻から入れるタイプの胃カメラ（経鼻内視鏡）が口から入れる通常の胃カメラより苦痛が少ないため市内をはじめ全国の医療機関に広まりつつあります。当院でも数年前に採用すべきか否か検討しましたが、経鼻内視鏡は細くて苦痛がないメリットは有するものの画像の精度、各種内視鏡処置を行う上でのデメリットが大きく、精密検査、内視鏡の処置・治療を頻繁に行う当院には適さないと判断し、採用しませんでした。経鼻内視鏡はあくまで検診などで病気を見つけるだけの目的には適しますが、病気の範囲などを細かく診断するにはまだ無理があるのです。以上のことをご理解下さいますようお願い申し上げます。今後とも貴重なご意見をお待ちしております。

13. 窓口関係

処方箋をもらう場所について、いつもは16番でもらえる処方箋を、今日は3番の計算受付でもらうように言われた。17時からもらう場所が変わるのだと後でわかったが、それならそのように3番にも表示してほしい。とてもわかりにくい。

ご返事

ご意見ありがとうございました。17時は通常業務と当直業務の交代の時間にあたり、17時から1時間半位は救急外来まで院外処方を取りに行く煩わしさを無くすため、3番の計算受付で会計と院外処方を同時に行なっています。また、時間内に3番の窓口は患者さんが多く見えるので、時間外に関する表示は誤解を招く恐れがあることから表示していません。受付での説明をさらに詳しくするよう心がけて対応いたします。今後とも貴重なご意見お待ちしております。

14. 療養環境関係

未成年者の見舞いの制限について、夏休み期間中だと思いが多くの者が目につく。新型インフルエンザは夏でも感染しており、今秋からは学校等での流行が懸念される。インフルエンザの症状があれば見舞いには来ないだろうが、潜伏期間であれば見舞いに来てしまう。入院患者は他の病気の治療中のため入院生活をしており、インフルエンザに感染すればすぐに合併症ということになるのでは。

ご返事

ご意見ありがとうございました。当院においても“インフルエンザウイルスの持ち込み”を最小限にし、入院中の患者さんを守るための態勢を徐々に構築しているところです。今後さらに流行するようであれば入院患者さんの外泊禁止や見舞制限が必要になると考えています。また、職員や病院に出入りする業者に健康監視を怠らないよう啓発し、呼吸器症状のある患者さんに対してはマスク着用を促すとともに、玄関などに手指消毒薬を設置するなどの対策もしております。以上、今後とも対応に遅れが生じないよう努力しますので、今後とも貴重なご意見をお寄せ下さい。

あ と が き

豊橋市民病院 院長 岡村正造



今年は梅雨がお盆近くまで続き、真夏日が本当に少なく、あつというまに朝晩に肌寒さを感じ、梨、葡萄など色とりどりの果実が店頭を飾る季節になりました。ところで、秋といえばすすきと栗に月見団子などを飾って満

月を眺める「お月見」や「実りの秋」、「食欲の秋」、「スポーツの秋」、「読書の秋」、そして「天高く馬肥ゆる秋」などの言葉が思い出されます。いずれも“収穫”、“趣味”、“祭り”など喜ばしいことに結びつくようですが、皆さんはどのような秋をお過ごしでしょうか。

ところで、今年は夏にもかかわらず新型インフルエンザが本格的な流行期に突入し、我が国でも死亡者が出るような事態に至っています。豊橋市民病院には本号でインフルエンザについてQ & A形式で解説している感染症認定専門医の山本景三副部長と高橋感染管理認定看護師が中心となって、豊橋市の保健所ならびに健康課と一体となって東三河地域におけるインフルエンザの流行に対応しています。とはいえ、特に

慢性呼吸器疾患、腎臓病、糖尿病、がん、心臓病、免疫機能低下の方々や、妊婦、乳幼児の皆さんは特に不安が高まりつつある今日この頃かと思えます。そこで皆さんに是非ご理解願いたいことは、当院の新型インフルエンザに対する第一の役割は重症化した方々を救うことだということです。万一皆さんが重症化した折には当院が責任を持って対応いたしますので、一般の皆さんがもしインフルエンザに罹患されたり、発熱や咳などのインフルエンザが疑われる症状が出たときには、まずは近くの一般医療機関で治療を受けていただき、重症者が数多く通院したり入院している当院にインフルエンザを持ち込まないようにしていただきたいのです。同様の理由で、お見舞いなどについても、発熱していたり咳が出るような時はご遠慮下さるようご協力ください。また、新型インフルエンザであっても死亡率は0.1～0.4%ときわめて低く99%以上は通常の季節性インフルエンザと同様に数日で治癒しますので、決して過度に心配せず、冷静に判断して行動して下さいようお願い申し上げます。

最後に、昔から「柿が赤らむと医者が青くなる、サンマが出るとあんまが引込む」ということわざがあり、秋になり柿や秋刀魚などの旬のおいしいものを食べると健康になるとわれています。皆様が健康であり、十五夜の月をきれいに眺められる秋の夜長を楽しんで頂けるよう心より願っております。

お知らせ

『総合患者支援センター(仮称)の工事について』

現在、院内には医療福祉相談、がん相談、女性相談を行う「医療相談室」と豊橋市医師会が運営し、紹介患者受け入れと逆紹介を行う「病診連携室」があります。

急性期の医療機関である本院だけでは、患者さんの医療や福祉的な支援が完結できるものではなく、地域の回復期や慢性期の医療機関と連携して機能分担を進めることが、今後ますます重要になります。

そこで、地域の関係機関と、より一層きめ細かな連携を行うために、この二つの機能を包括した「総合患者支援センター(仮称)」を設置するものです。同センターは、平成22年4月の開設を目指して、現在、建設工事を行っています。

同センターは、現在の2室を合わせた面積の約2倍のスペースとなり、六つの相談室と医療や福祉制度などに関する情報提供コーナーを設け、患者サービスの向上を図るものです。

豊橋市民病院の理念

信頼に応える技術、人に優しい思いやりのある心、地域に開かれた安らぎのある病院

豊橋市民病院の基本方針

1. 地域に開かれた信頼のある病院、患者に優しい思いやりのある医療を目指します。
2. 地域の基幹病院としてふさわしい高度な医療を提供するとともに、特殊医療、救急医療等を積極的に受け持ちます。
3. 基幹病院としての役割を担いながら、他の医療機関との間の有機的な連携のもとに当院の行うべき医療活動を推進します。
4. 医学及び医療技術の研鑽に努めるとともに、医学・医療の進歩に寄与します。
5. 研修医、医学部学生、看護学生、コメディカル、救急救命士などの教育を積極的に行います。
6. 地域住民の保健知識の普及に努め、健康増進活動に参加します。
7. 公共性と経済性を考慮し、健全な病院経営に努めます。
8. 安全医療の推進に努めます。

当院の案内は下記でも行っています。併せてご覧下さい。
豊橋市民病院インターネットホームページアドレス
<http://www.municipal-hospital.toyohashi.aichi.jp>



豊橋市民病院
携帯サイト

